



フェンスAL シームレスラインライト

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

お願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと取付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。
- 腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。器具のショートなどによる思わぬ事故や感電によるケガのおそれがあります。
- 有機溶剤・化学薬品等にさらされる環境、沿岸部等の塩害の発生する環境、直射日光・水没環境・結露する環境、大雨などで冠水するおそれのある環境、引火する危険性（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー等）のある環境、製品または取付けパーツに直接負荷がかかる環境、取付け後に製品または取付けパーツが摺動する環境、振動や衝撃の多い場所には設置しないでください。
- 暖房機器や火気などに近接したところでは使用しないでください。

▲ 注意

- 灯具本体はフェンスALの指定箇所以外には取付けしないでください。
- LED点灯時、製品を布、紙等で覆わないでください。
- シームレスラインライトは下記事項を守ってください。
 - ・鋭角に曲げないでください。
※最小曲げ半径は300mmです。
 - ・踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。
 - ・両面から追い込みをしないでください。(レールへの取付時)
 - ・ねじったり、強く引っ張らないでください。
 - ・曲げる方向に注意してください。
- 製品の分解・改造は、しないでください。
- 灯具を現場で切詰める場合
 - シームレスラインライトを切断した場合は、必ず切詰め用キャップを取付けてください。止水性が損なわれ、埃が溜まりLEDから発火する可能性があります。

施工の前に

つづき

▲ 注意

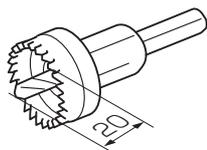
- キャップには向きがあります。角Rが発光面の上面に合うようにしてください。正しく施工しないと止水性の低下につながります。
- 止水性を確保するため、下記の当社指定の接着剤またはシーリング材を使用してください。

メーカー	品番または品名
信越化学工業(株)	KE-45-T(クリア)
セメダイン(株)	スーパーX(クリア)

- 当社指定の接着剤以外を使用すると、止水性が保持できず器具内に浸水し、故障、感電のおそれがあります。
- 硬化時間などの詳細については接着剤またはシーリング材の硬化時間を確認してください。
- 完全硬化前に触らないでください。完全硬化前に施工してしまうと止水性が確保できず、故障、感電のおそれがあります。

施工前のお願い

- ブロックに施工する場合は、厚さ10cm以上の重量ブロック(JIS A 5406の区分16(C種)以上)を使用してください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認をしてください。
- 正しく施工、取付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 地上配線する場合は、φ18mm用膜付グロメットを現場手配してください。
- 地上配線する場合に、柱のφ18mmの穴加工はセンタードリルの飛び出し量が20mm以下のホールソーを使用してください。



施工上のご注意

▲ 注意



- ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

〈推奨トルク〉

アルミ M5ねじ: 2.0N・m±0.5N・m (20±5kgf・cm)

レール φ4ねじ: 1.2N・m±0.5N・m (12±5kgf・cm)

樹脂 M4ねじ: 1.0N・m±0.5N・m (10±5kgf・cm)

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。アルミなどの金属が腐食し強度低下の原因となります。
- PF管を通さない柱の底部についているモルタル防止キャップ(テープ含)は取外さないでください。また柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。
- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。
- 取付け後、必ず鋭利な切断面やバリが露出していない事を確認し、修正してください。ケガをするおそれがあります。
- 施工終了後は、ねじにゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定個所以外の穴加工はしないでください。不具合・故障や感電・強度低下などのおそれがあります。
- シームレスラインライト用レールを切断後のバリ取り、端部の角R取りをして、必ず鋭利な切断面やバリが無いことを確認して下さい。ケガをするおそれがあります。
- 地上配線する場合は下記事項を守ってください。
 - ・配線用の穴の大きさはφ18で加工してください。それより小さい場合は膜付グロメットを取付けできなくなります。それより大きい場合は強度低下の原因になります。
 - ・配線の方向を確認し、穴は柱の側面両面に貫通させないでください。強度低下の原因になります。



施工上のご注意

つづき

▲ 注意

- 地中配線する場合は下記事項を守ってください。
 - ・ 基礎ブロックは、独立基礎寸法以上のサイズを使用してください。やむをえず小さいサイズの基礎ブロックを使用する場合、独立基礎寸法より大きくなる様に周囲をモルタルで補強してください。強度低下の原因になります。
 - ・ PF管は水抜き穴の無い側に寄せてください。柱の中に水が溜まり凍結して柱が破裂するおそれがあります。
 - ・ 砂利は柱の底面の高さまで入れてください。モルタルが柱の中に入り腐食の原因になります。
 - ・ モルタルが柱の底面を塞がない様にしてください。柱の中に水が溜まり凍結して柱と基礎が破裂するおそれがあります。

施工上のお願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

基礎工事について

▲ 注意

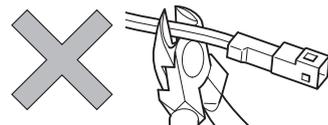
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- 基礎の大きさ、基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 基礎は当社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。

電気配線工事について

▲ 注意



- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。
- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。
- 灯具の防水コネクタを切除しないでください。故障や感電のおそれがあります。



施工上のお願い

- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブル・延長ケーブルと合わせて使用してください。（DC12V仕様）当社以外の製品を使用すると、作動不良を起こす場合があります。
- PF管内で結線しないでください。結線部が腐食し不点灯になることがあります。

- 取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を合わせてご確認ください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●フェンスAL本体

No.	ページ	チェック内容	
1	8	地中配線の場合、基礎ブロックは独立基礎寸法以上のサイズを使用しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	9	地上配線の場合、柱の側面片側にφ18で穴加工しましたか。	<input type="checkbox"/>
3	16,17	笠木取付金具またはリフトブラケットを柱に【M5×8トラス小ねじロックタイト付き】を使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
4	17	笠木取付金具またはリフトブラケットを笠木取付裏板に【M5×8トラス小ねじロックタイト付き】を使用して推奨トルクで固定し、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

●灯具

No.	ページ	チェック内容	
1	11	シームレスラインライトを切詰めした場合、切詰めキャップは当社指定のクリア色のシーリング材、接着剤を使用して取付けましたか。	<input type="checkbox"/>
2	13	レールは【2a】ねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
3	14	施工前にシームレスラインライトの点灯確認をしましたか。	<input type="checkbox"/>
4	14	シームレスラインライトは、鋭角に曲げていませんか、踏みつけたり発光面を強く押さえていませんか、両面から追い込みをしていませんか、ねじったり強く引っ張っていませんか、曲げる方向に注意しましたか。	<input type="checkbox"/>
5	14,15	シームレスラインライトが正しい向きでレールに確実に取付いていることを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
6	16	ケーブルはコネクタで確実に接続されていることを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
7	18	施工完了後にシームレスラインライトの点灯を確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

梱包明細表

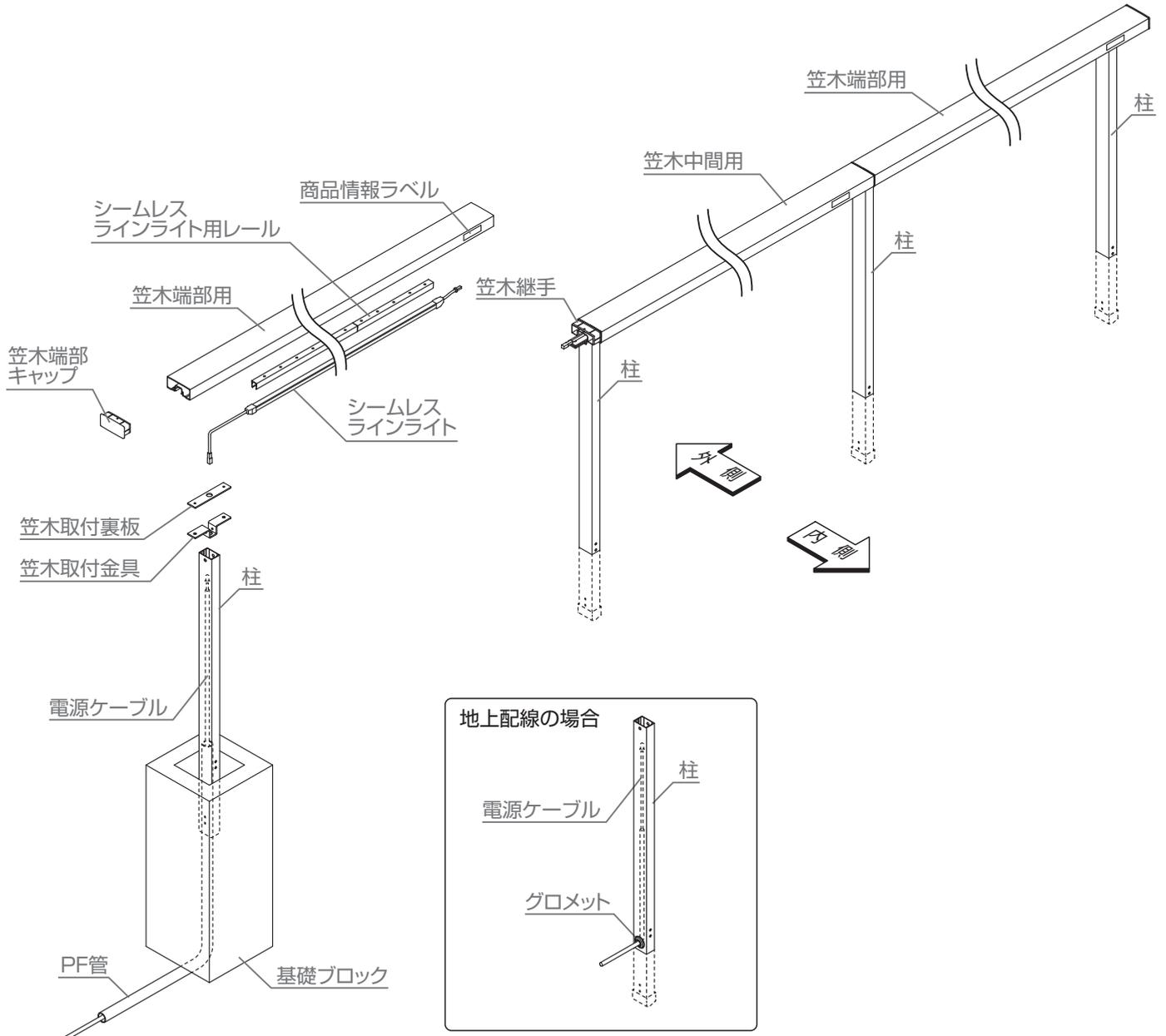
【1】シームレスラインライト			
名 称	略 図	員 数	
		端部用	連結用
端部用		1	—
連結用		—	1
フェンスALシームレスラインライト 取付説明書<EXM-121>	—	1	—
12Vエクステリアライト美彩 取扱説明書<UZ287>	—	1	—

【2】シームレスラインライト用レール		
名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト用レール		2
【2a】φ4×10特平ドリルねじ3種D7		11

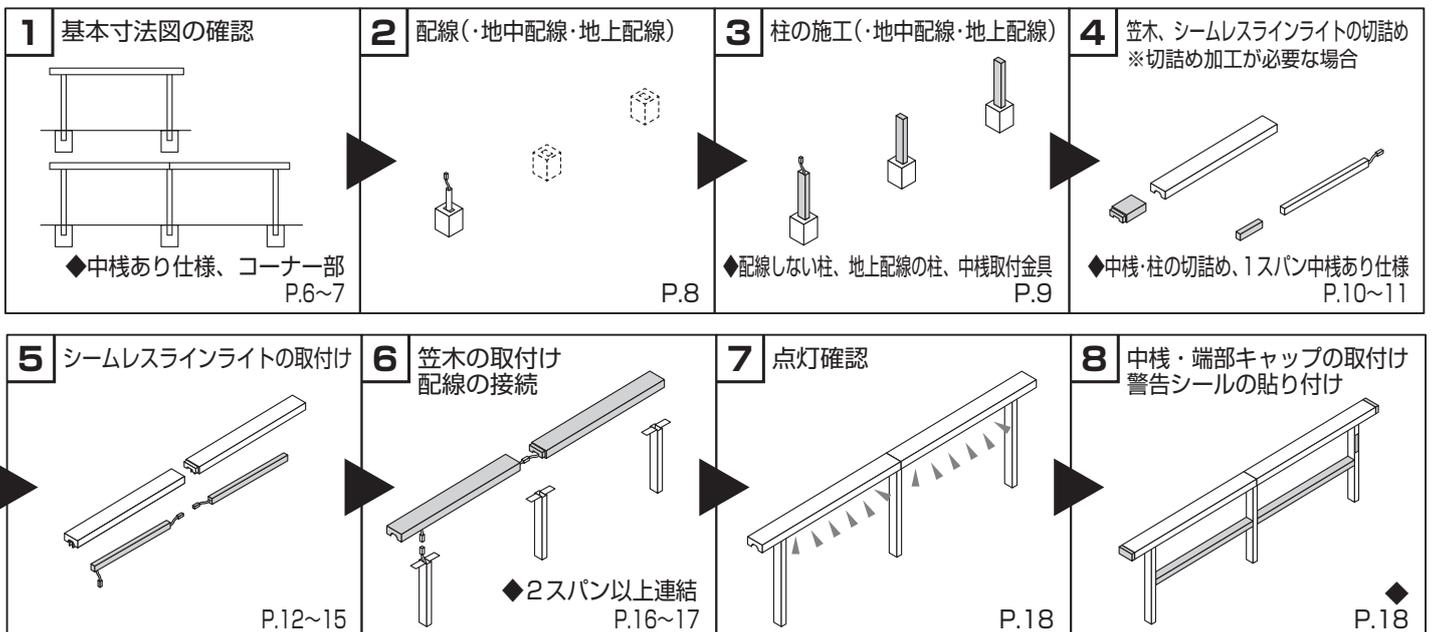
【3】シームレスラインライト 切詰め用キャップ ※切詰めする場合		
名 称	略 図	員 数
切詰め用キャップ		2
シームレスラインライト切詰め用キャップ 取付説明書<EXM-125>	—	1

※フェンス AL の場合は、<EXM-125>は使用せずに、本取付説明書<EXM-121>にしたがってください。

各部名称



施工の流れ



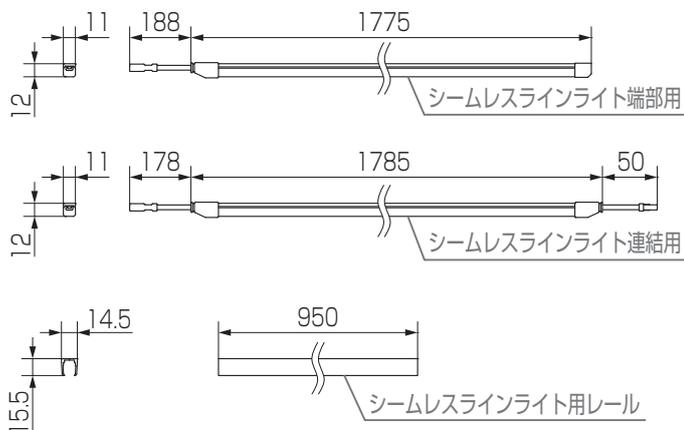
◆の場合、フェンスAL本体の施工は、取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を参照してください。

1 基本寸法図

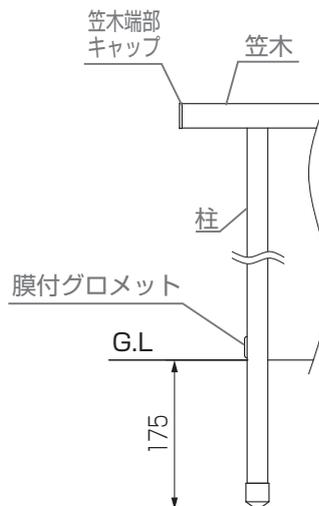
施工上のお願い

●中棧あり仕様、コーナー部は、取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を参照してください。

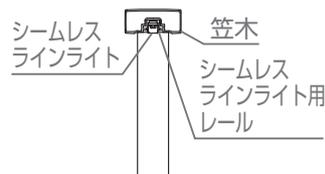
1-1 シームレスラインライト



【正面図：地上配線の場合】



【笠木断面図】

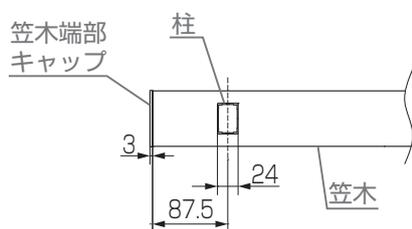


1-2 フェンス本体端部（電源側）

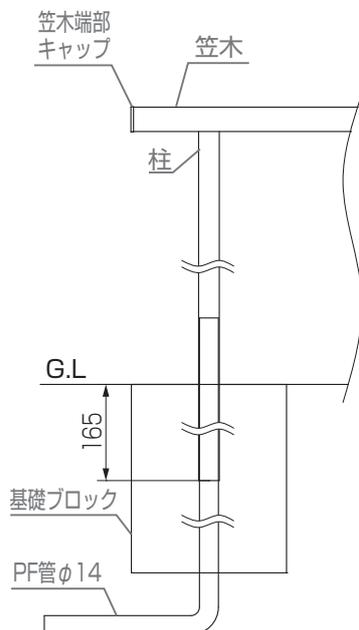
施工上のお願い

●シームレスラインライトを取付ける場合は、笠木端部から柱中心の間隔は87.5mmで施工してください。シームレスラインライトを取付けることが出来なくなります。

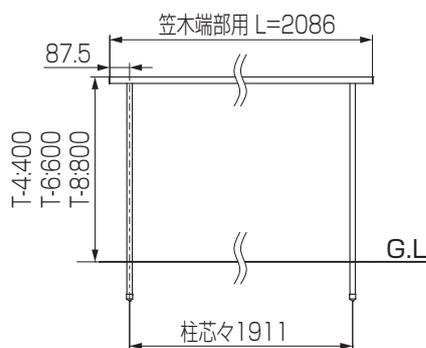
【上面図】



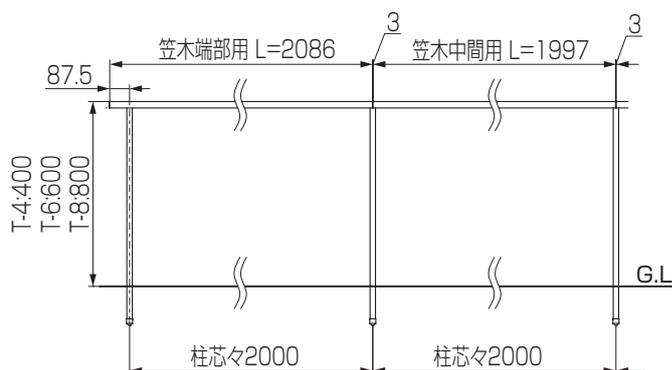
【正面図：地中配線の場合】



1-3 1スパン



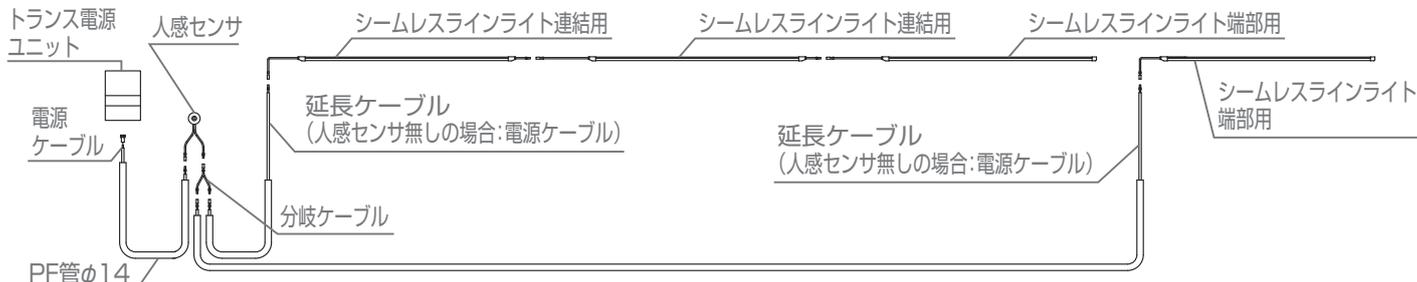
1-4 2スパン以上連結



1 基本寸法図

1-5 配線図

- 人感センサ無しの場合は、PF管φ14は1本になり、電源ケーブルがシームレスラインライトへ接続になります。
- 人感センサは笠木や柱に取付けることはできません。
- シームレスラインライトは、ケーブル1本につき最大で3スパンまで接続できます。
4スパン以上接続の場合は電源ケーブルまたは延長ケーブルを3スパンごとと接続してください。
最大で3スパンを3組の9スパンまで接続できます。



●シームレスラインライト使用一覧

	1スパン目	2スパン目	3スパン目
1スパン	端部用	—	—
2スパン	連結用	端部用	—
3スパン	連結用	連結用	端部用

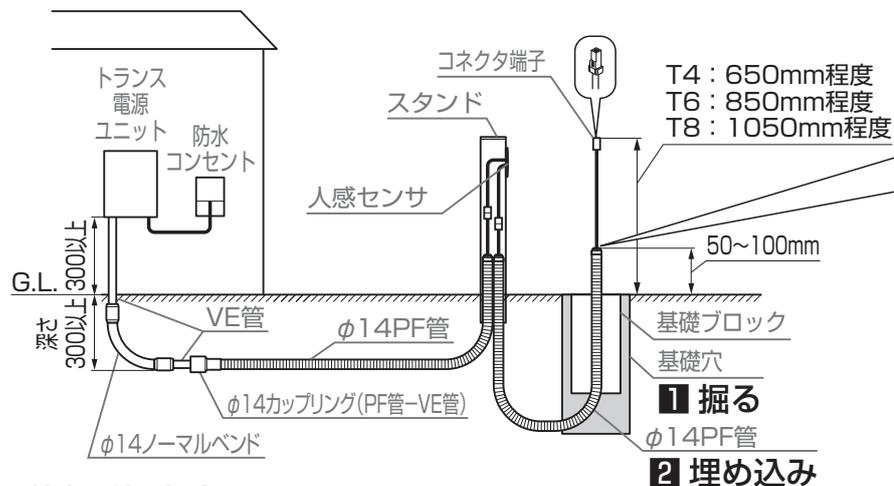
施工上のお願い

- 人感センサの取付けは、取付説明書「DC12V人感センサ <EXM-093>」を参照してください。

2 配線

<地中配線の場合>

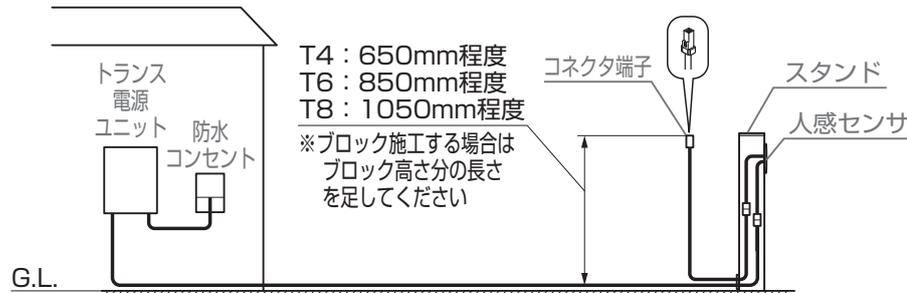
- 1: 基礎ブロック用の穴を掘る
- 2: PF管を柱位置に埋め込み



- 埋設管は必要な長さで切り落とし、端部ブッシングを取付けまたはパテ埋めしてください。
- ※ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。

- ①ケーブル径に合わせてブッシングの先端を切断します。
- ②ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。
- ③ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。

<地上配線の場合>



施工上のお願い

- 電源ケーブルは、配線接続とメンテナンスの作業性のために、柱の上面から200～300mm程度飛び出る様に柱のサイズに合わせてGLから目安の長さ確保してください。
- 地中配管(コンクリートやモルタルで埋設)する場合、埋設管を敷設してください。柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。
- 既設のフェンスALにシームレスラインライトを後付けする場合は地上配線してください。

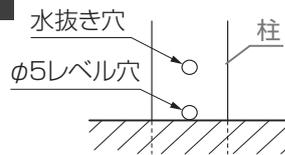
3 柱の施工

施工上のお願い

- 柱ピッチは **1 基本寸法図** の表記にしたがってください。
- 柱の基礎への固定は、笠木・中棧を取付けた後、柱の間隔、垂直、水平、通りの確認・調整を行いモルタルで完全に固定するようにしてください。

上記の手順で施工しないと、フェンスの組立てができなくなります。

- 中棧を取付ける場合は、取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を参照し、最初に中棧取付金具を柱に取付けてください。
- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。

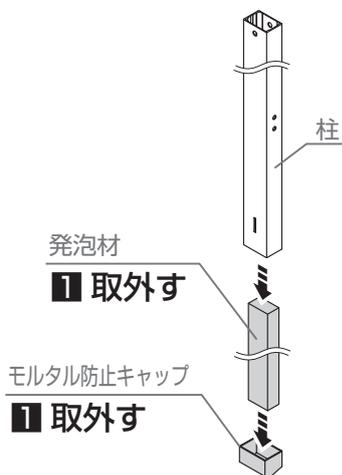


3-1 地中配線する場合

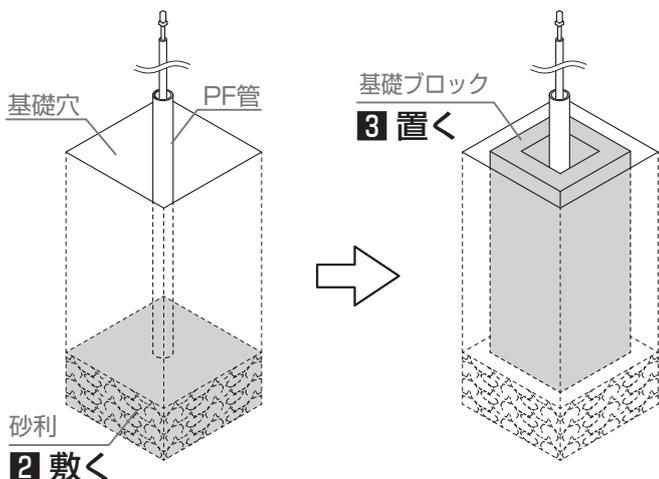
施工上のお願い

- 配線を通さない柱は、柱の底部についているモルタル防止キャップ(テープ含む)を外さないでください。
- 配線を通さない柱の施工は、取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」にしたがって、独立基礎、連続基礎のいずれかの方法で施工してください。

1: 配線を通す柱のモルタル防止キャップ、発泡材を取外す



- 2:** 基礎ブロック用の穴に砂利を敷く
- 3:** 基礎ブロックを置く



注意

- 基礎ブロックは、独立基礎寸法以上のサイズを使用してください。やむをえず小さいサイズの基礎ブロックを使用する場合、独立基礎寸法より大きくなる様に周囲をモルタルで補強してください。強度低下の原因になります。

4: 立上げてあるPF管に柱を通し、柱をくさびで仮固定

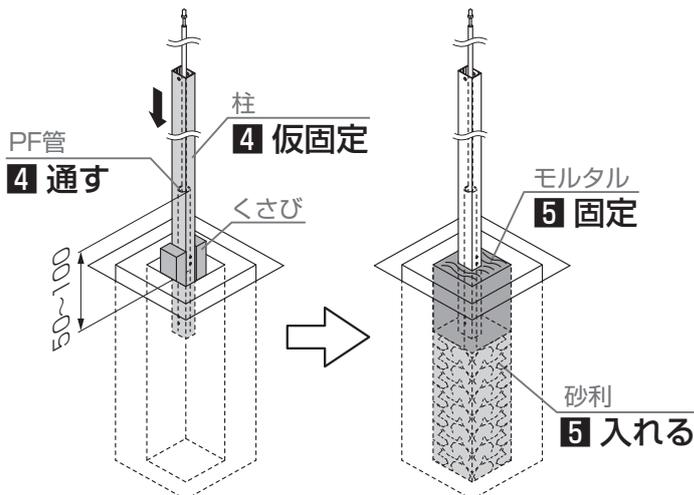
注意

- PF管は水抜き穴の無い側に寄せてください。柱の中に水が溜まり凍結して柱が破裂するおそれがあります。
- 砂利は柱の底面の高さまで入れてください。モルタルが柱の中に入り腐食の原因になります。

施工上のお願い

- PF管を通す柱は、レベル穴に棒を通すことは出来ません。くさびで仮固定して高さ調整をしてください。

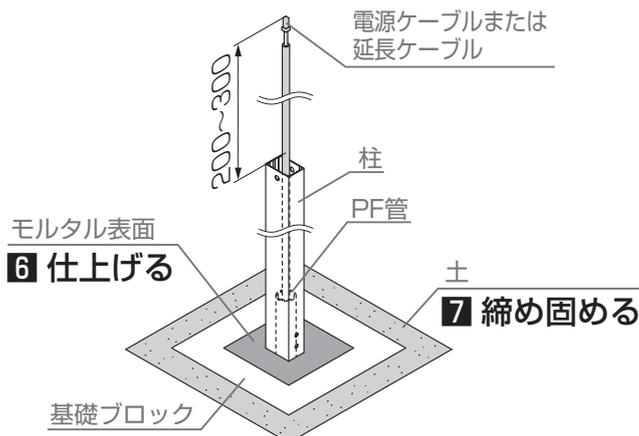
5: 柱の底面の高さまで砂利を入れて、モルタルを充填し固定



注意

- モルタルが柱の底面を塞がない様にしてください。柱の中に水が溜まり凍結して柱と基礎が破裂するおそれがあります。

- 6:** モルタルが固まった後、モルタル表面を仕上げる
- 7:** 基礎ブロックの周りに土を入れて締め固める



3 柱の施工

3-2 地上配線する場合

施工上のお願い

- 既設のフェンスにシームレスラインライトを取付ける場合、配線を通す必要があるため笠木・笠木取付金具・笠木取付裏板を一度取り外してください。
- 新規施工の場合、柱を建込む前に柱の穴加工をしてください。

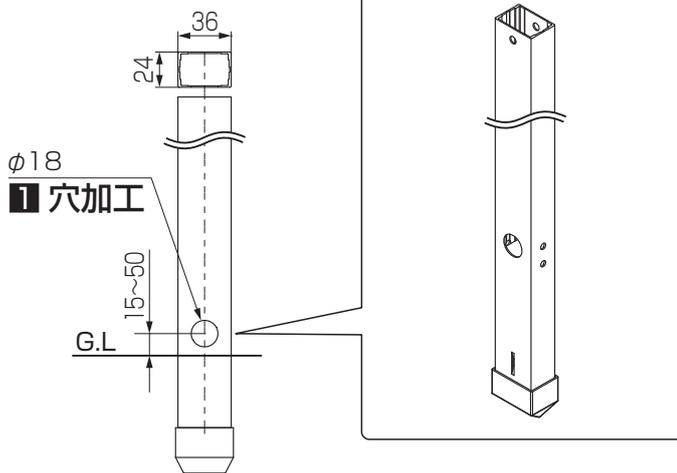
1: 配線を通す側の柱の側面(片面)に配線用のφ18を穴加工

⚠ 注意

- 配線用の穴の大きさはφ18で加工してください。それより小さい場合は膜付グロメットを取付けできなくなります。それより大きい場合は強度低下の原因になります。
- 配線の方向を確認し、穴は柱の側面向面に貫通させないでください。柱の狭い方の面には穴加工しないでください。強度低下の原因になります。

施工上のお願い

- 穴の位置が指定の位置になる様に、φ6程度で下穴をあけて位置出ししてください。



2: 柱設置位置を決め、柱を建込む

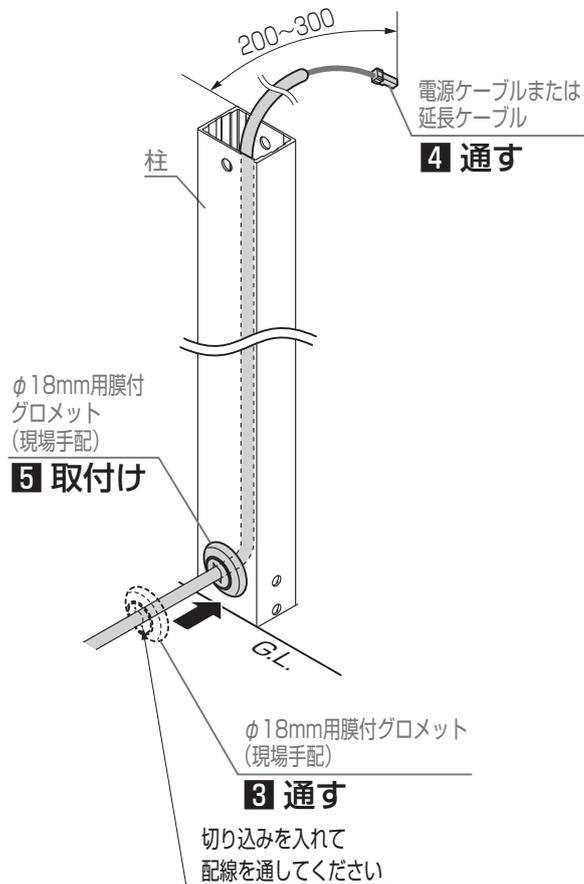
施工上のお願い

- 地上配線の柱は取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」にしたがって、コンクリートブロック、独立基礎、連続基礎のいずれかの方法で施工してください。

3: φ18mm用膜付グロメット(現場手配)を電源ケーブルまたは延長ケーブルに通す

4: 電源ケーブルまたは延長ケーブルを柱に通す

5: 膜付グロメットをφ18の穴に取付け



4 笠木、シームレスラインライトの切詰め

※切詰め加工が必要な場合

施工上のお願い

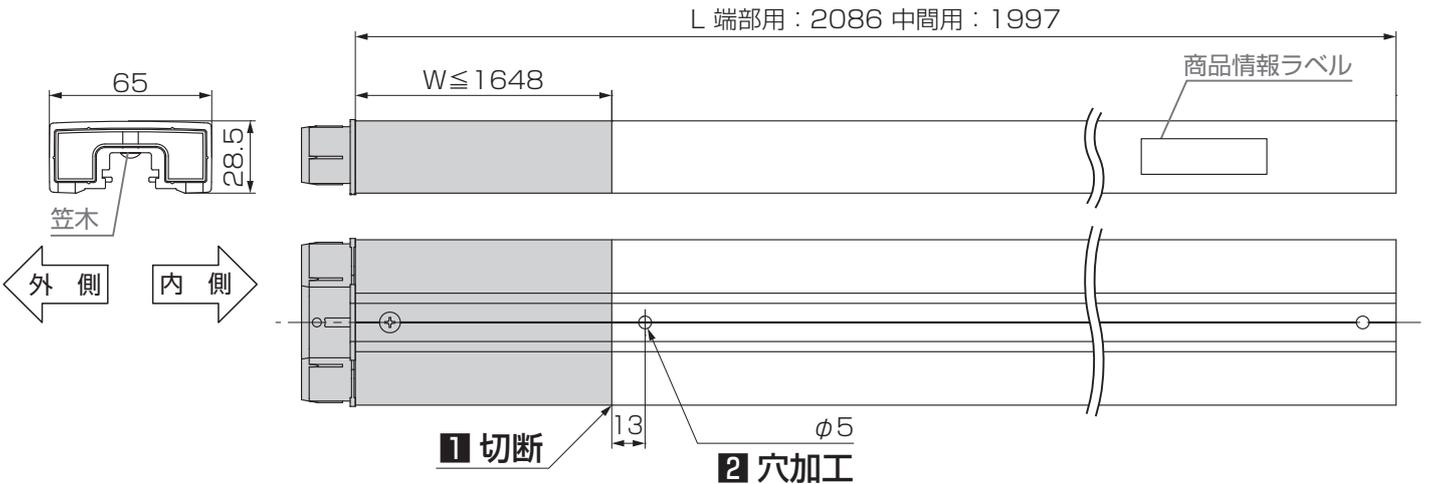
- 中棧、柱を切詰める場合、1スパンで中棧を取付ける場合は、取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を参照してください。
- シームレスラインライト連結用の切詰めはできません。笠木の切詰め寸法に合わせて、シームレスラインライト連結用の特注サイズを選択し、シームレスラインライト用のレールを切詰めてください。
- シームレスラインライト端部用は切詰めすることができます。笠木の切詰め寸法に合わせて、シームレスラインライト端部用を切詰め、または特注サイズを選択し、シームレスラインライト用のレールを切詰めてください。

4-1 笠木の切詰め

施工上のお願い

- 笠木を切詰める場合、商品情報ラベルが付いていない側(笠木継手が付いている側)から切詰めてください。
- 笠木の切断側に笠木を連結する場合は、笠木継手を付け替えてください。

- 1: 笠木を切断(W=切詰め寸法)
- 2: 笠木に笠木端部キャップ取付用または笠木継手取付用のφ5を穴加工



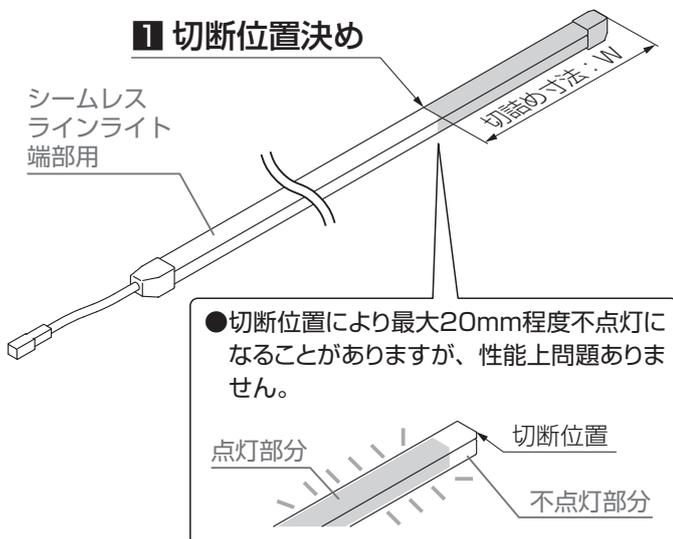
4-2 シームレスラインライト端部用の切詰め

※切詰めは端部のみ可能です

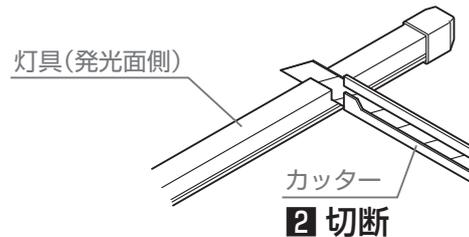
注意

- シームレスラインライトを切断した場合は、必ず切詰め用キャップを取付けてください。止水性が損なわれ、埃が溜まりLEDから発火する可能性があります。

- 1: シームレスラインライト端部用の切断位置決め(W=取付ける笠木の切詰め寸法と同じ)



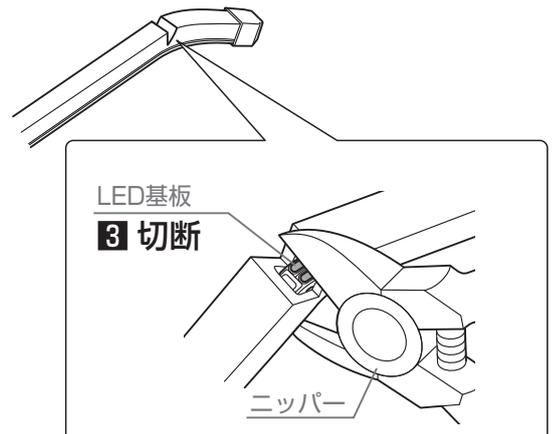
- 2: 切断位置を確認し、カッターで発光面からLED基板に当たる深さまでまっすぐ切断



施工上のお願い

- 切断した端部側の部材は使用できません。

- 3: LED基板をニッパーで切断

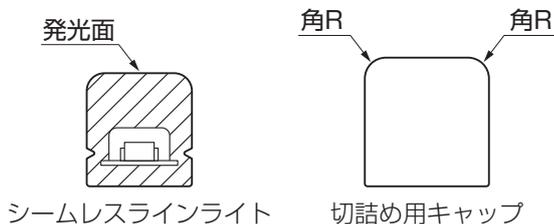


4-2 シームレスラインライト端部用の切詰め

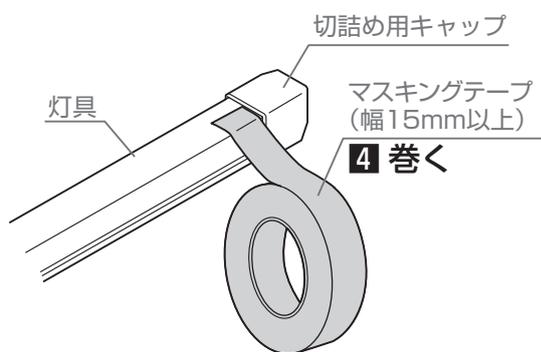
つづき

注意

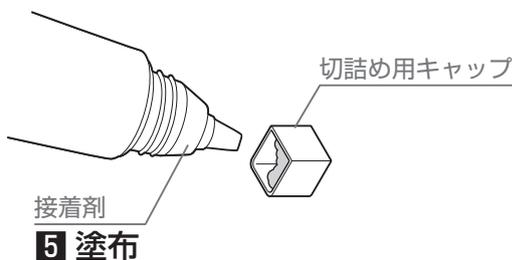
- キャップには向きがあります。角Rが発光面の上面に合うようにしてください。以下の向きで正しく施工しないと止水性の低下につながります。



- 4: キャップを仮組し、キャップの際にマスキングテープを灯具に巻く



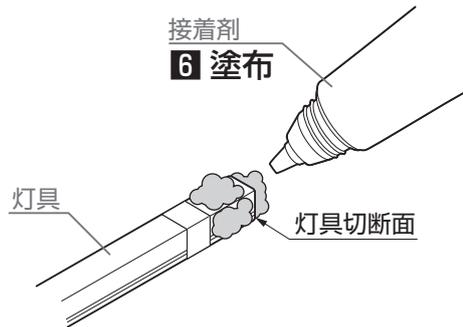
- 5: 接着剤またはシーリング材を切詰め用キャップの深さの約5割まで塗布



施工上のお願

- キャップ角に塗布しながらキャップ内の隙間を埋めてください。

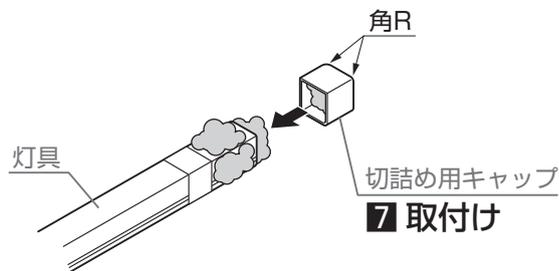
- 6: 接着剤またはシーリング材を、キャップの「取付部の灯具側面」と「灯具切断面」に塗布



施工上のお願

- 以下の灯具切断面に塗布してください。LED基板空間内に入ると光が白色化しますが性能上問題ありません。

- 7: キャップの取付向きを注意しながら切詰め用キャップを切断箇所に取り付け
- 8: はみ出した接着剤やシーリング材はへらなどで取除く
- 9: 完全に硬化する前にマスキングテープを取除く



注意

- 止水性を確保するため、下記の当社指定の接着剤またはシーリング材を使用してください。

メーカー	品番または品名
信越化学工業(株)	KE-45-T (クリア)
セメダイン(株)	スーパーX (クリア)

- 硬化時間などの詳細については接着剤またはシーリング材の硬化時間を確認してください。
- 完全硬化前に触らないでください。完全硬化前に施工してしまうと止水性が確保できず、故障、感電のおそれがあります。

5 シームレスラインライトの取付け

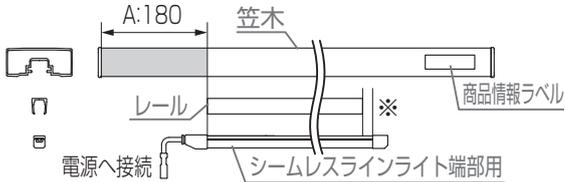
5-1 シームレスラインライト用レール取付け位置確認

● 笠木端部からのシームレスラインライト用レール取付け位置【A寸法】説明図

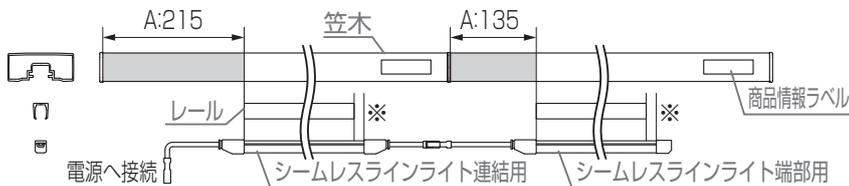
施工上のお願い

●内側から見て左側から配線した場合の寸法です。右側から配線の場合は内側から見て右側から寸法を追ってください。

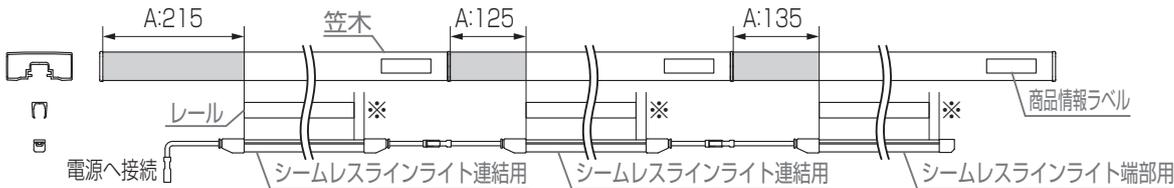
・1スパンの場合



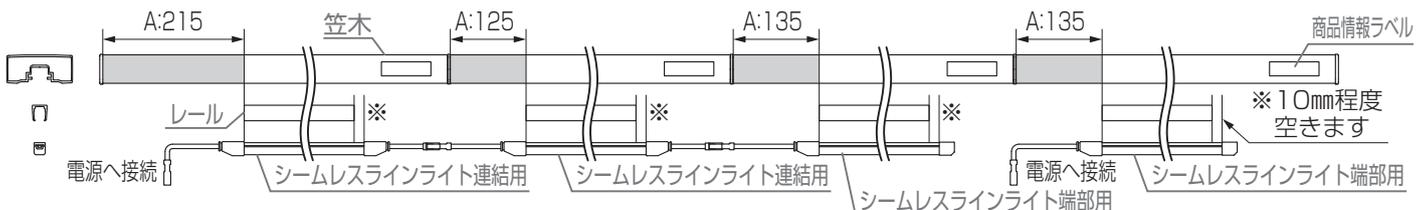
・2スパンの場合



・3スパンの場合



・4スパンの場合



・5スパン以上の場合

下記の一覧表を参照してください。

● シームレスラインライト用レール取付け位置【A寸法】一覧表

総スパン数	～スパン目	【A寸法】(シームレスラインライト コネクタ凹側)：シームレスラインライト端部用・連結用					
		1スパン目	2スパン目	3スパン目	4スパン目	5スパン目	6スパン目
1スパン		180：端部用	—	—	—	—	—
2スパン		215：連結用	135：端部用	—	—	—	—
3スパン		215：連結用	125：連結用	135：端部用	—	—	—
4スパン		215：連結用	125：連結用	135：端部用	135：端部用	—	—
5スパン		215：連結用	125：連結用	135：端部用	125：連結用	135：端部用	—
6スパン		215：連結用	125：連結用	135：端部用	125：連結用	125：連結用	135：端部用

・7、8、9スパン目は、4、5、6スパン目と同じです。

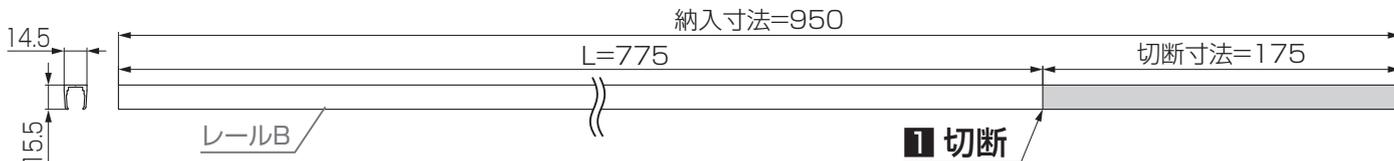
5 シームレスラインライトの取付け

5-2 シームレスラインライト用レールの取付け

▲ 注意

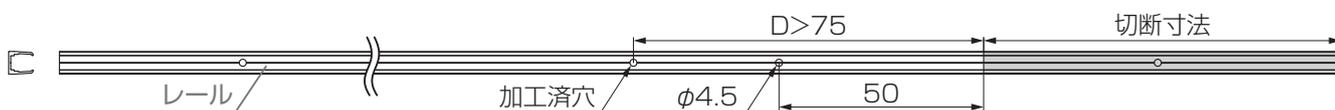
- シームレスラインライト用レールを切断後のバリ取り、端部の角R取りをして、必ず鋭利な端部が無いことを確認してください。ケガをするおそれがあります。

- 1:** シームレスラインライト用レール1セット2本入り(L=950)の1本を775mmに切断
 ※レールA:L=950、レールB:L=775mm



シームレスラインライトを切詰めた場合・特注サイズを使用する場合

- シームレスラインライトを切詰めた場合、レールをシームレスラインライトの切詰め寸法と同じ寸法を切詰めてください。
- シームレスラインライトの特注サイズを使用する場合、「●シームレスラインライト特注寸法一覧」のレール切め詰寸法を切詰めてください。
- 切詰めた側のシームレスラインライト用レール端部と加工済穴の間隔Dが75mmより大きい場合、端部から50mmの位置にφ4.5の穴加工をしてください。

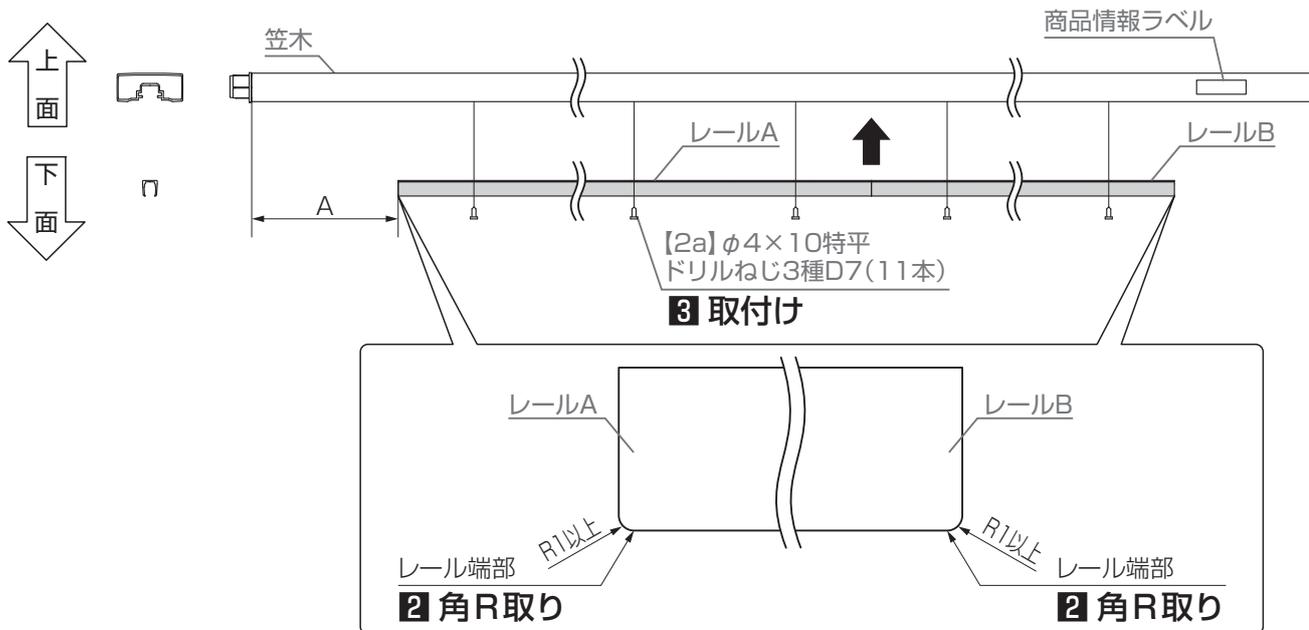


- レール1本の長さが80mm以下の場合、レールの中央1箇所φ4.5の穴加工をしてください。

- 2:** シームレスラインライト用レールの端部をヤスリ等でR1以上に角R取り(レールの付き合わせ部分はやすり)
3: シームレスラインライト用レールを笠木のA寸法の位置に【2a】ねじで全てのレールの穴に対して取付け

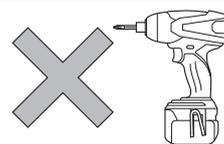
施工上のお願い

- A寸法は±5mm以内でレールを取付けてください。5mm以上ずれるとシームレスラインライト同士が接続出来なくなる可能性があります。



施工上のお願い

- レールを取付ける際は、最後は電動工具を使用せずに手締めしてください。レールが破損することがあります。



5 シームレスラインライトの取付け

5-3 シームレスラインライトの取付け

▲ 注意

●鋭角に曲げないでください。
※最小曲げ半径は300mmです。



●踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。



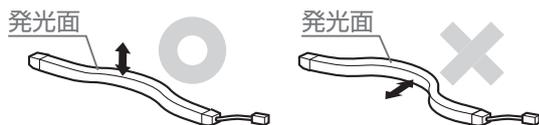
●両面から追い込みをしないでください。(レールへの取付時)



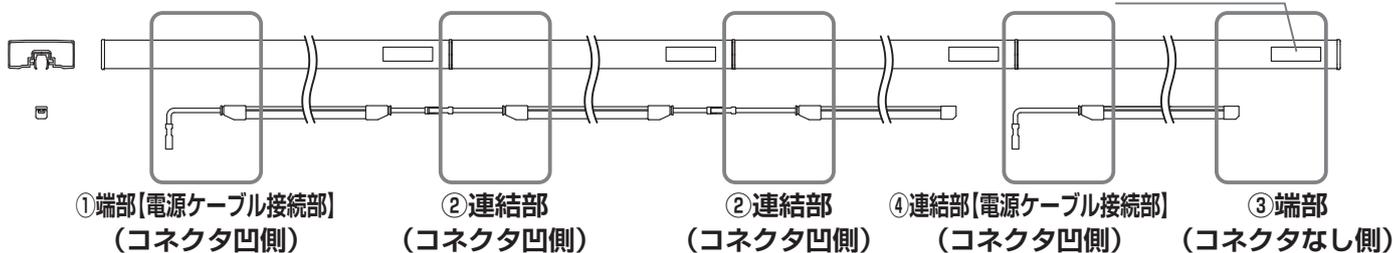
●ねじったり、強く引っ張らないでください。



●曲げる方向に注意してください。

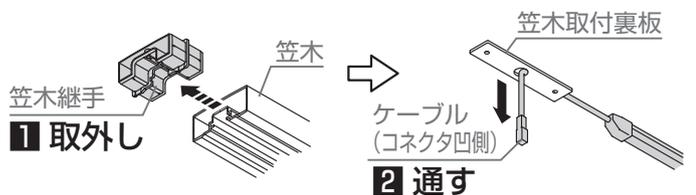


●シームレスラインライト取付けパターン

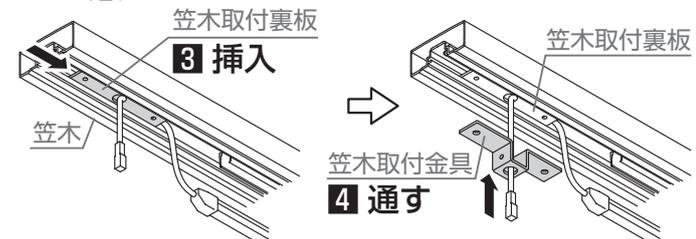


①端部【電源ケーブル接続部】(コネクタ凹側)

- 1: 笠木の片側端部の笠木継手を取外し
- 2: 笠木取付裏板の中央の穴にシームレスラインライトのコネクタ凹側のケーブルを通す



- 3: 笠木取付裏板を笠木の溝に挿入
- 4: 笠木取付金具の中央の穴にシームレスラインライトのケーブルを通す



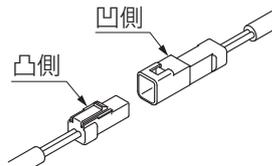
施工上のお願い

●シームレスラインライトの発光面が笠木下面になるように取り付けてください。(裏面には黒いラインがあります)



●シームレスラインライトを取付ける前に、点灯するか確認してください。

●コネクタには向きがあります。向きを間違えないよう、取付けてください。



●笠木を連結して仮組みし、コネクタを接続できることを確認してください。接続できない場合は、シームレスラインライトの位置調整をしてください。

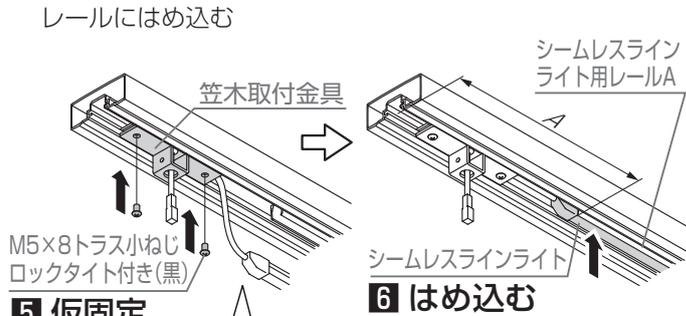
●シームレスラインライトは、笠木取付金具の仮固定後、位置調整後にシームレスラインライト用レールへはめ込んでください。先にはめ込むと位置調整が難しくなります。

●シームレスラインライトが波打っていないことを確認してください。

既設のフェンスALに施工する場合

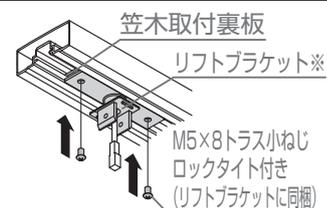
●取り外した緩み止めの付いているねじ (M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き) と同等のねじと緩み止めを新たに使用してください。

- 5: 笠木取付金具を笠木取付裏板に柱の部品セットに付属のねじ (M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き) で仮固定
- 6: シームレスラインライト端部キャップ内側をシームレスラインライト用レールAの端部に位置合わせして、ライト全体をレールにはめ込む



▼ リフトブラケットの場合 ▼

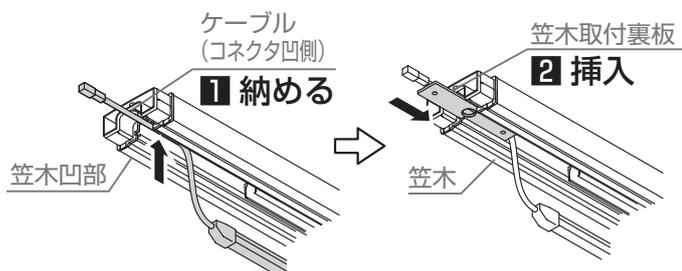
※リフトブラケットはオプションです。リフトブラケットを使用する場合は、笠木取付金具は使用しません。



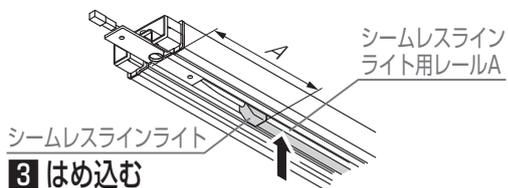
5-3 シームレスラインライトの取付け

② 連結部(コネクタ凹側)

- ❶ シームレスラインライトのコネクタ凹側のケーブルを笠木の凹部に納める
- ❷ 笠木取付裏板を笠木の溝に挿入



- ❸ シームレスラインライト端部キャップ内側をシームレスラインライト用レールAの端部に位置合わせして、ライト全体をレールにはめ込む

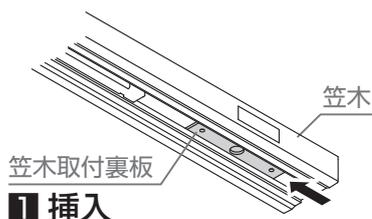


施工上のお願い

- シームレスラインライトのコネクタが笠木取付裏板の外側に出る様にしてください。コネクタが笠木取付金具と重なっていると笠木を取付けられなくなります。

③ 端部(コネクタなし側)

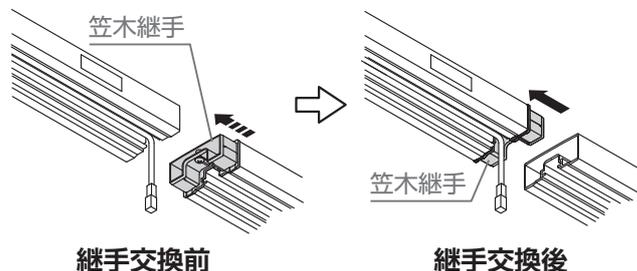
- ❶ 笠木取付裏板を笠木の溝に挿入



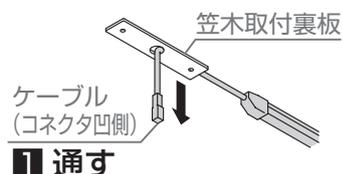
④ 連結部【電源ケーブル接続部】(コネクタ凹側)

内側から見て右側から配線の場合

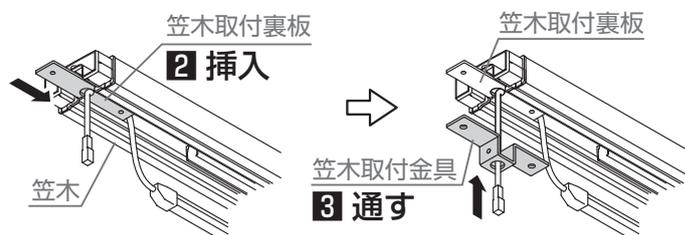
- 連結する笠木の笠木継手を取り外して、電源ケーブル接続部側の笠木に取付けてください。



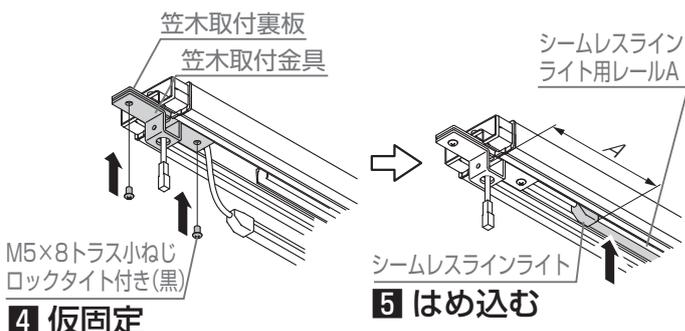
- ❶ 笠木取付裏板の中央の穴にシームレスラインライトのコネクタ凹側のケーブルを通す



- ❷ 笠木取付裏板を笠木の溝に挿入
- ❸ 笠木取付金具の中央の穴にシームレスラインライトのケーブルを通す



- ❹ 笠木取付金具を笠木取付裏板に柱の部品セットに付属のねじ (M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き) で仮固定
- ❺ シームレスラインライト端部キャップ内側をシームレスラインライト用レールAの端部に位置合わせして、ライト全体をレールにはめ込む



6 笠木の取付け、配線の接続

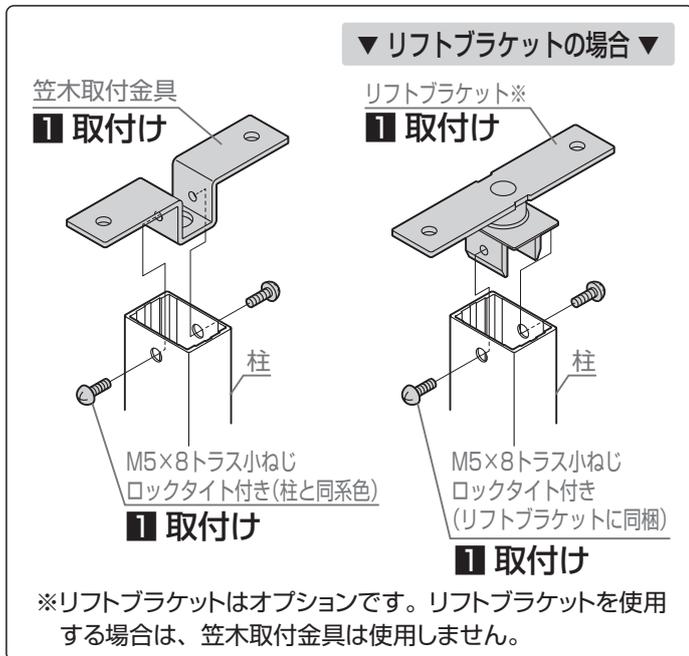
施工上のお願い

●2スパン以上連結する場合は、取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を合わせて参照してください。

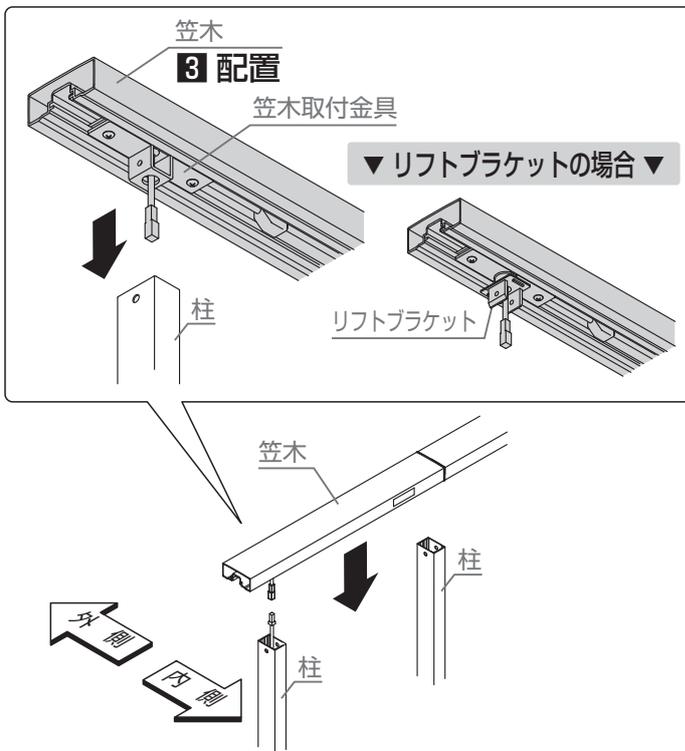
既設のフェンスALに施工する場合

●取り外した緩み止めの付いているねじ(M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き)と同等のねじと緩み止めを新たに使用してください。

1: 電源ケーブルを通さない柱に笠木取付金具を柱の部品セットに付属のねじ(M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き)で取付け



3: 笠木を柱の上に配置

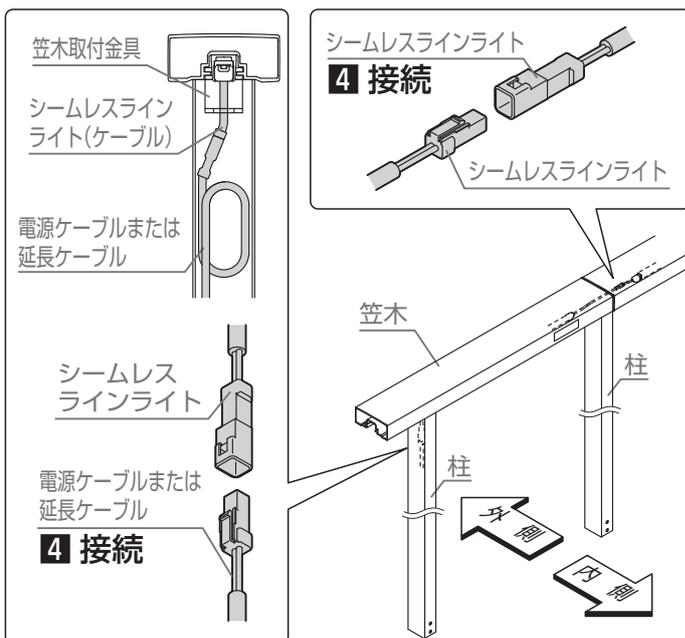
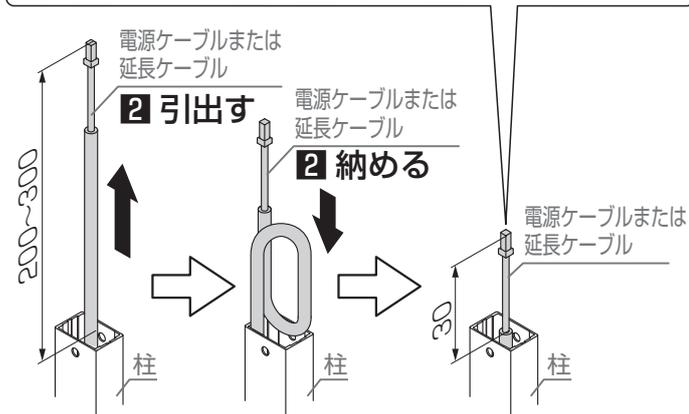
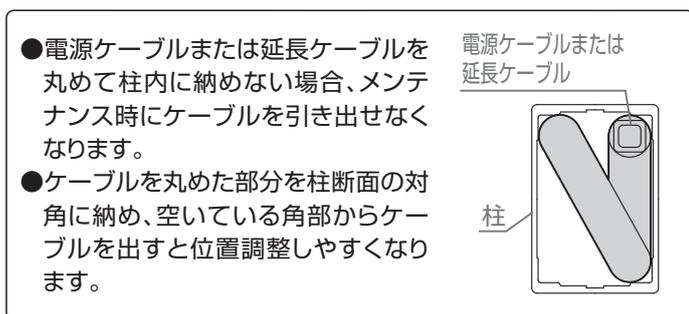


施工上のお願い

●笠木を連結した後にコネクタを接続してください。

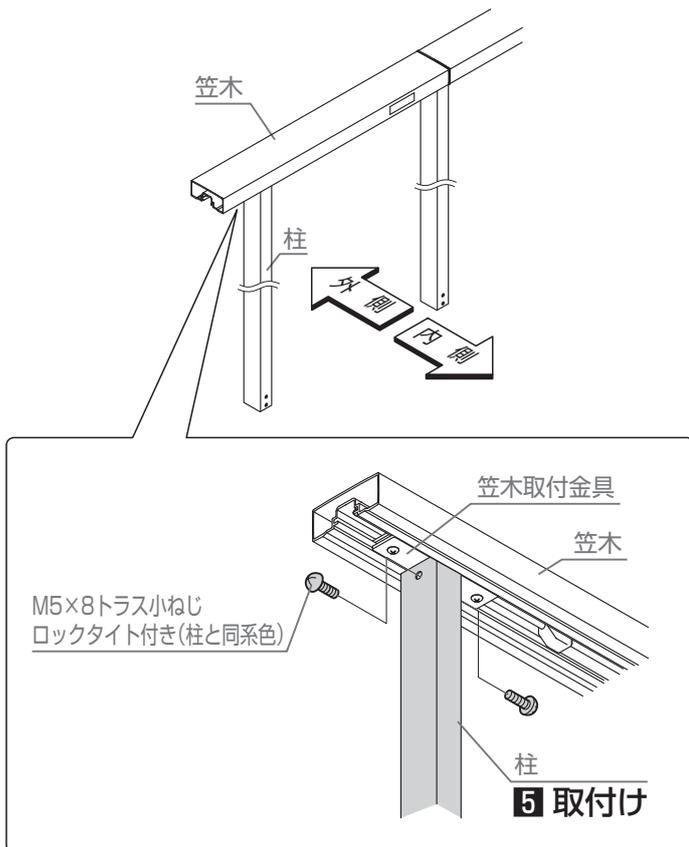
4: 電源ケーブルまたは延長ケーブル、シームレスラインライトを接続

2: 電源ケーブルまたは延長ケーブルを柱から200~300mm程引出し、コネクタ先端が柱上面から30mm程度の位置になるように丸めて柱内に納める

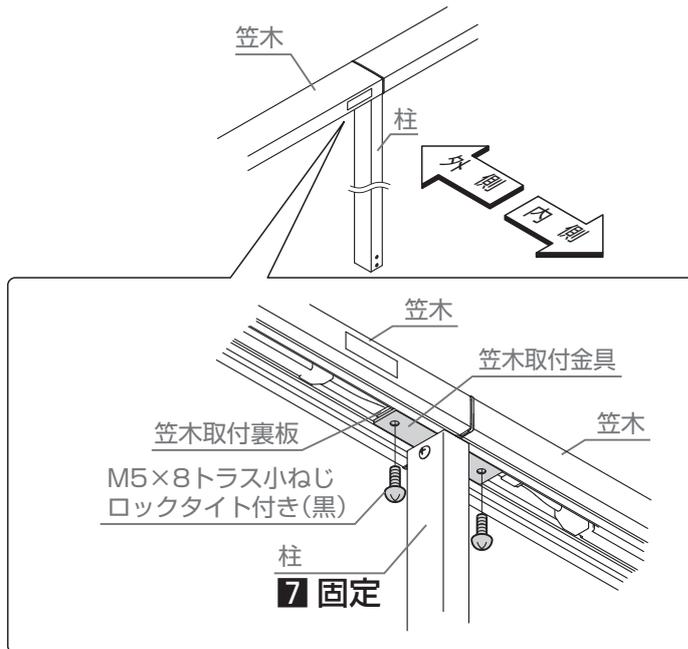


6 笠木の取付け、配線の接続

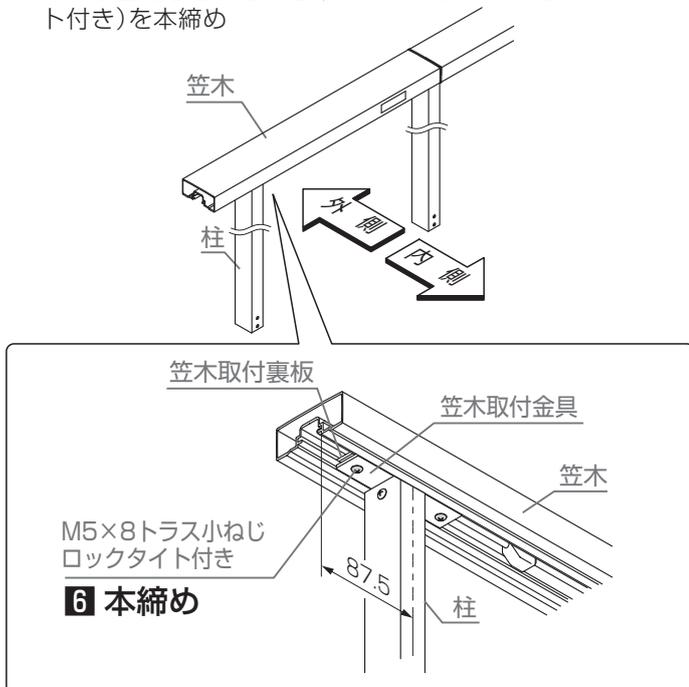
5: 笠木の電源ケーブル接続部で、仮固定してある笠木取付金具を柱に柱の部品セットに付属のねじ(M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き)で取付け



7: 電源ケーブルを通さない柱に取付けた笠木取付金具を笠木に挿入してある笠木取付裏板に柱の部品セットに付属のねじ(M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き)で固定

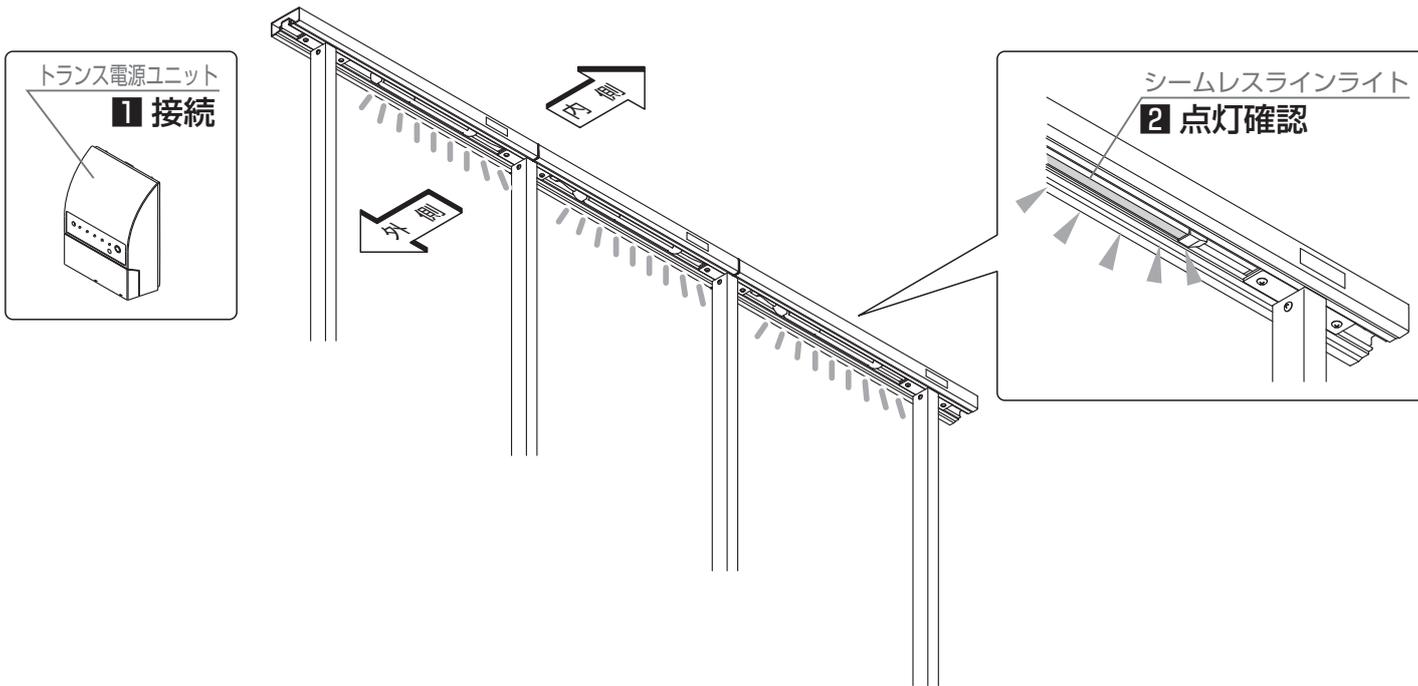


6: 笠木の電源ケーブル接続部で、笠木取付金具を笠木取付裏板に仮固定しているねじ(M5×8トラス小ねじ ロックタイト付き)を本締め



7 点灯確認

- 1: 取付説明書「トランス電源ユニット35W/60W プラグ付・プラグレスタイプ<Z546>」を参照し、トランス電源ユニットを接続
- 2: トランス電源ユニットの電源を入れてシームレスラインライトが正常に点灯するか確認



8 中棧・端部キャップの取付け、警告シールの貼付け

- 1: 取付説明書「フェンスAL<EXM-070>」を参照し、中棧を取付け、端部キャップを取付け、警告シールを貼付け

施工上のお願い

- 笠木端部キャップを取付ける際は、電動工具を使用しないでください。部品が破損することがあります。

笠木

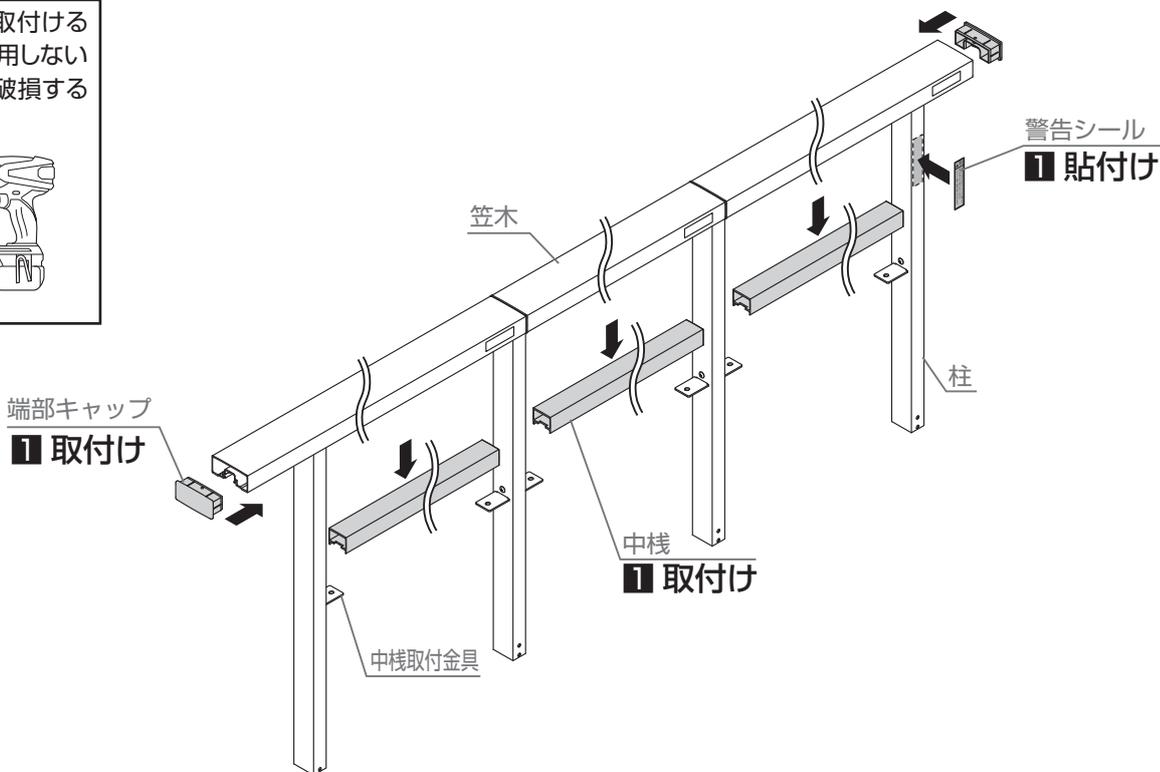
端部キャップ
1 取付け

中棧取付金具

中棧
1 取付け

警告シール
1 貼付け

柱



●シームレスラインライト特注寸法一覧

- ・ 笠木端部～柱中心：87.5mm
- ・ LED基板ピッチ：21.4mm（1ピッチにLED3個）
- ・ レール：シームレスラインライトが、【L】1026mm以上の場合は2本、【L】1014mm以下の場合は1本を使用

区分	LED基板 ピッチ減少数 【n】 (個)	シームレスラインライト				笠木		
		1スパン 連結端部 端部用【L】 (mm)	連結中間部 連結用【L】 (mm)	レール切詰め寸法		切詰め寸法 【W】 (mm) 21.4×n 小数点以下 四捨五入	全長	
				レールA (mm) n≤36の場合は0 n≥37の場合は 950-(17+(21.4×(n-37)))	レールB (mm) n≤35の場合は 950-(175+(21.4×n)) n≥36の場合は使用無し		端部用 (mm) 2086-W	中間用 (mm) 1997-W
規格	0	1775	1785	0	175	0	2086	1997
特注	1	1753	1763	0	197	21	2065	1976
	2	1732	1742	0	218	43	2043	1954
	3	1711	1721	0	239	64	2022	1933
	4	1689	1699	0	261	86	2000	1911
	5	1668	1678	0	282	107	1979	1890
	6	1646	1656	0	304	128	1958	1869
	7	1625	1635	0	325	150	1936	1847
	8	1604	1614	0	346	171	1915	1826
	9	1582	1592	0	368	193	1893	1804
	10	1561	1571	0	389	214	1872	1783
	11	1539	1549	0	411	235	1851	1762
	12	1518	1528	0	432	257	1829	1740
	13	1497	1507	0	453	278	1808	1719
	14	1475	1485	0	475	300	1786	1697
	15	1454	1464	0	496	321	1765	1676
	16	1432	1442	0	518	342	1744	1655
	17	1411	1421	0	539	364	1722	1633
	18	1390	1400	0	560	385	1701	1612
	19	1368	1378	0	582	407	1679	1590
	20	1347	1357	0	603	428	1658	1569
	21	1325	1335	0	625	449	1637	1548
	22	1304	1314	0	646	471	1615	1526
	23	1283	1293	0	667	492	1594	1505
	24	1261	1271	0	689	514	1572	1483
	25	1240	1250	0	710	535	1551	1462
	26	1218	1228	0	732	556	1530	1441
	27	1197	1207	0	753	578	1508	1419
	28	1176	1186	0	774	599	1487	1398
	29	1154	1164	0	796	621	1465	1376
	30	1133	1143	0	817	642	1444	1355
	31	1111	1121	0	839	663	1423	1334
	32	1090	1100	0	860	685	1401	1312
	33	1069	1079	0	881※	706	1380	1291
	34	1047	1057	0	903※	728	1358	1269
	35	1026	1036	0	924※	749	1337	1248
	36	1004	1014	0		770	1316	1227
	37	983	993	17		792	1294	1205
	38	962	972	38		813	1273	1184
	39	940	950	60		835	1251	1162
	40	919	929	81		856	1230	1141
	41	897	907	103		877	1209	1120
	42	876	886	124		899	1187	1098
	43	855	865	145		920	1166	1077
	44	833	843	167		942	1144	1055
	45	812	822	188		963	1123	1034
	46	790	800	210		984	1102	1013
	47	769	779	231		1006	1080	991
	48	748	758	252		1027	1059	970
	49	726	736	274		1049	1037	948
	50	705	715	295		1070	1016	927
	51	683	693	317		1091	995	906
	52	662	672	338		1113	973	884
	53	641	651	359		1134	952	863
	54	619	629	381		1156	930	841
	55	598	608	402		1177	909	820
	56	576	586	424	使用無し	1198	888	799
	57	555	565	445		1220	866	777
	58	534	544	466		1241	845	756
	59	512	522	488		1263	823	734
	60	491	501	509		1284	802	713
	61	469	479	531		1305	781	692
	62	448	458	552		1327	759	670
	63	427	437	573		1348	738	649
	64	405	415	595		1370	716	627
	65	384	394	616		1391	695	606
	66	362	372	638		1412	674	585
	67	341	351	659		1434	652	563
	68	320	330	680		1455	631	542
	69	298	308	702		1477	609	520
	70	277	287	723		1498	588	499
	71	255	265	745		1519	567	478
	72	234	244	766		1541	545	456
	73	213	223	787		1562	524	435
	74	191	201	809		1584	502	413
	75	170	180	830		1605	481	392
	76	148	158	852		1626	460	371
	77	127	137	873※		1648	438	349

※レール1本の長さが80mm以下の場合は、中央1箇所にてφ4.5の穴加工をしてください。

取説コード

EXM-121

JZZ638914
202401_1049